

© EPODOC / EPO

PN - JP6268769 A 19940922
PD - 1994-09-22
PR - JP19930072840 19930309
OPD - 1993-03-09
TI - PICTURE COMMUNICATIONS TERMINAL EQUIPMENT
IN - MURAYAMA MASAMI
PA - MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
IC - H04M11/00 ; H04N7/173

© WPI / DERWENT

TI - Visual communication terminal equipment - uses Id judging circuit to distinguish Id inserted in trans-substitute address information element while establishing terminal connection
PR - JP19930072840 19930309
PN - JP6268769 A 19940922 DW199443 H04M11/00 007pp
PA - (MATU) MATSUSHITA DENKI SANGYO KK
IC - H04M11/00 ; H04N7/173
AB - J06268769 The visual communication terminal equipment which transmits multiplexed multi-media digital signal through ISDN circuit. It inserts Id in the trans-substitute address information element in the call setting message at the time of transmission.
- Further, it has Id judging circuit (15) to distinguish Id inserted in the trans-substitute address information element at the time of terminal connection. It identifies the addresser from multiple incoming calls when communication is performed by bundling multiple circuits (B,zero H).
- USE/ADVANTAGE - For use in multi-media digital signal transmission through ISDN circuit. Recognises the incoming call, due to repeated sending arrival sequence. Prevents accidental connection to wrong address.
- (Dwg.0/5)
OPD - 1993-03-09
AN - 1994-345766 [43]

© PAJ / JPO

PN - JP6268769 A 19940922
PD - 1994-09-22
AP - JP19930072840 19930309
IN - MURAYAMA MASAMI

- PA - MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
- TI - PICTURE COMMUNICATIONS TERMINAL EQUIPMENT
- AB - PURPOSE: To provide picture communications terminal equipment which can discriminate whether plural numbers of call origination were executed by the same caller or not in the case that call originating and terminating sequence is executed repeatedly in order to establish a call for plural lines.
- CONSTITUTION: In the picture communications terminal equipment provided with a function to multiplex-transmit respective video, sound and data digital signals, an ID is inserted into an outgoing subaddress information element in a call setting message at the time of call origination, and simultaneously, an ID judging means¹⁵ to discriminate the ID inserted into the outgoing subaddress information element at the time of call incoming is provided. In the case that communication is executed by bundling plural lines (B, H0 channels), since it can be judged whether the call incoming is caused by the same caller or not even if the call incoming arises successively from plural lines, the situation that the call from another caller is established by mistake can be prevented.
- I - H04M11/00 ;H04N7/173

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-268769

(43) 公開日 平成6年(1994)9月22日

(51) Int. Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 11/00	3 0 3	7470-5K		
H 0 4 N 7/173		7251-5C		

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平5-72840

(22) 出願日 平成5年(1993)3月9日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 村山 正美

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

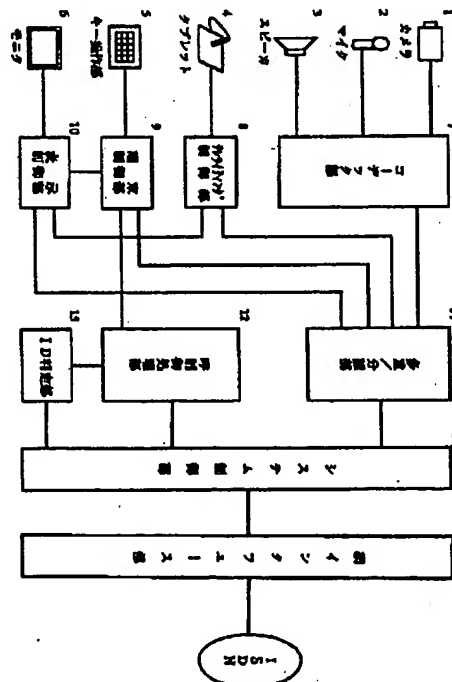
(74) 代理人 弁理士 役 昌明 (外1名)

(54) 【発明の名称】 画像通信端末装置

(57) 【要約】

【目的】 複数の回線について呼を確立するため、発着信シーケンスを繰返し行なう場合に、それらの発呼が同一発信者によって行なわれたものかどうかを識別することができる画像通信端末装置を提供する。

【構成】 映像、音声およびデータの各デジタル信号を多重伝送する機能を備えた画像通信端末装置において、発信時の呼設定メッセージ内の発サブアドレス情報要素にIDを挿入すると共に、着信時の発サブアドレス情報要素に挿入されたIDを判別するID判定手段15を設ける。複数の回線(B、H0チャネル)を束ねて通信を行なう場合に、順次、複数の回線から着信があっても、その着信が同一発信者によるものかどうかを判定することができるから、誤って別の発信者との呼を確立してしまう事態を防ぐことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 映像、音声およびデータ等の各デジタル信号を多重伝送する機能を備えた画像通信端末装置において、

発信時の呼設定メッセージ内の発サブアドレス情報要素にIDを挿入すると共に、着信時の発サブアドレス情報要素に挿入されたIDを判別するID判定手段を設けたことを特徴とする画像通信端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ISDN回線を通じて画像データ等を伝送する画像通信端末装置に関し、特に、複数の回線を束ねて通信を行なう場合に、予定通りの回線確保ができるように構成したものである。

【0002】

【従来の技術】画像通信端末装置は、映像、音声およびデータの各デジタル信号を多重伝送する機能を備えている。

【0003】従来の画像通信端末装置は、図4に示すように、カメラ1、マイク2およびスピーカ3に接続して、映像データまたは音声データを送信時に圧縮・符号化し、受信時に伸長・復号化するコーデック部7と、タブレット4からのデータを変換するテレライティング制御部8と、キー操作部5からの設定に基づいて端末装置全体を制御する端末制御部9と、モニタ6への映像の表示切替を制御する表示制御部10と、映像、音声およびテレライティング・データを送信時に多重化し、受信時に分離する多重／分離部11と、発着呼や切断等の呼の管理を行なう呼制御処理部12と、システム全体を管理するシステム制御部13と、ISDN回線に端末を接続するための網インタフェース部14とを具備している。

【0004】この画像通信端末装置では、発信側ユーザが、発呼のためにキー操作部5より回線番号の入力と機能の選択とを行なうと、その情報は、端末制御部9を介して呼制御処理部12に通知され、これを受けた呼制御処理部12は、図5に示すシーケンスに従って呼を設定する。

【0005】呼制御処理部12は、まず、呼設定メッセージを作成し、システム制御部13および網インタフェース部14を介してISDNに送信する。この呼設定メッセージを受信した着信側ユーザは、呼設定メッセージにตอบสนองして、応答メッセージを送信する。このとき、受信した呼設定メッセージは、呼制御処理部12で解析される。応答メッセージを受信した発信側は、応答メッセージを呼制御処理部12で解析して、応答確認メッセージを送信する。着信側ユーザが同メッセージを受信すると、呼が確立し、以後、通信可能状態となる。

【0006】複数の回線（BチャンネルやH0チャンネル）を束ねて通信を行なう場合には、複数のチャンネルについて、順次、先の手順による発着信シーケンスが繰り返さ

れ、呼の確立が行なわれる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の画像通信端末装置では、図5に示すように、発信者Aが、着信者Cとの間で、複数の回線（BチャンネルやH0チャンネル）による通信を行なうため、複数のチャンネルについて、順次、発着信シーケンスを繰返して、呼の確立を図っているときに、その途中で、別の発信者Bから着信者Cへの着信があると、呼の発信者を区別することができない着信者Cは、それに応答し、発信者Bとの間で呼の設定が行なわれてしまう。その結果、発信者Aの意図していた複数のチャンネルの確保ができない状態が発生する。

【0008】本発明は、こうした従来の問題点を解決するものであり、複数の回線について呼を確立するため、発着信シーケンスを繰返し行なう場合に、それらの発呼が同一発信者によって行なわれたものかどうかを識別することができる画像通信端末装置を提供することを目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】そこで、本発明では、映像、音声およびデータ等の各デジタル信号を多重伝送する機能を備えた画像通信端末装置において、発信時の呼設定メッセージ内の発サブアドレス情報要素にIDを挿入すると共に、着信時の発サブアドレス情報要素に挿入されたIDを判別するID判定手段を設けている。

【0010】

【作用】そのため、複数の回線（B、H0チャンネル）を束ねて通信を行なう場合に、順次、複数の回線から着信があっても、その着信が同一発信者によるものかどうかを判定することができるから、誤って別の発信者との呼を確立してしまう事態を防ぐことができる。

【0011】

【実施例】本発明の実施例における画像通信端末装置は、図1に示すように、同一発信者であることを示すID（暗証番号）を発信時の呼設定メッセージ内に設定し、着信時にはその暗証番号を確認することによって発信者の同一性を判別するID判定部15を備えている。その他の構成は従来の装置（図4）と変わりがない。

【0012】発信者を識別するための暗証番号は、図2に示すように、呼設定メッセージの中の発サブアドレス情報要素を用いて着信側に伝送される。

【0013】また、この画像通信端末装置では、図3に示す発着信シーケンスに従って呼を設定する。

【0014】この画像通信端末装置では、発信側ユーザが、発呼のためにキー操作部5から回線番号の入力と機能の選択とを行なうと、その情報は、端末制御部9を介して呼制御処理部12に通知される。呼制御処理部12およびID判定部15は、予めユーザによって設定されている同一発信者であることを示すID（暗証番号）を図2に

3

示すように、発サブアドレス情報要素のサブアドレス情報に設定する。

【0015】この際、本来の発サブアドレス番号の次に区切り子（ここでは*を利用）を挿入し、その後、ID（暗証番号）を挿入しておく。この発サブアドレス情報要素を呼設定メッセージに含めて作成し、システム制御部13、網インタフェース部14を介してISDNに送信する。

【0016】この呼設定メッセージを受信した着信側のID判定部15は、呼設定メッセージ内の発サブアドレス情報要素に含まれているID（暗証番号）を記憶しておく。その後、図3に示すシーケンスのように応答メッセージ、応答確認メッセージのやり取りの後、呼が確立する。

【0017】次に着信があった場合は、ID判定部15において、発サブアドレス情報要素のサブアドレス情報に設定されているID（暗証番号）とID判定部15で記憶しているID（暗証番号）とが比較され、一致した場合は同一発信者による着信と見做し、応答メッセージを返してその呼に応答する。また、不一致の場合は、別の発信者による着信と見做し、その呼を無視するか、あるいは解放完了メッセージを送信して呼を切断し、同一発信者による着信を待つ。

【0018】このような手順を繰り返すことにより、同一発信者による複数のチャネルにおける呼の確立が行なわれる。

【0019】

【発明の効果】以上の実施例の説明から明らかなように、本発明の画像通信端末装置では、複数の回線（B、H0チャネル）を束ねて通信を行なう場合に、複数の回

4

線からの着信が同一発信者によるものかどうかを判定することができるので、別の発信者との呼の確立を排除することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の画像通信端末装置における一実施例の構成を示すブロック図、

【図2】実施例の装置で暗証番号の通知に使う発サブアドレス情報要素を示す図、

【図3】実施例の画像通信端末装置における発着信シーケンス図、

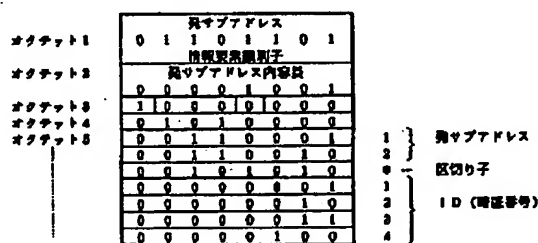
【図4】従来の画像通信端末装置の構成を示すブロック図、

【図5】従来の画像通信端末装置における発着信シーケンス図である。

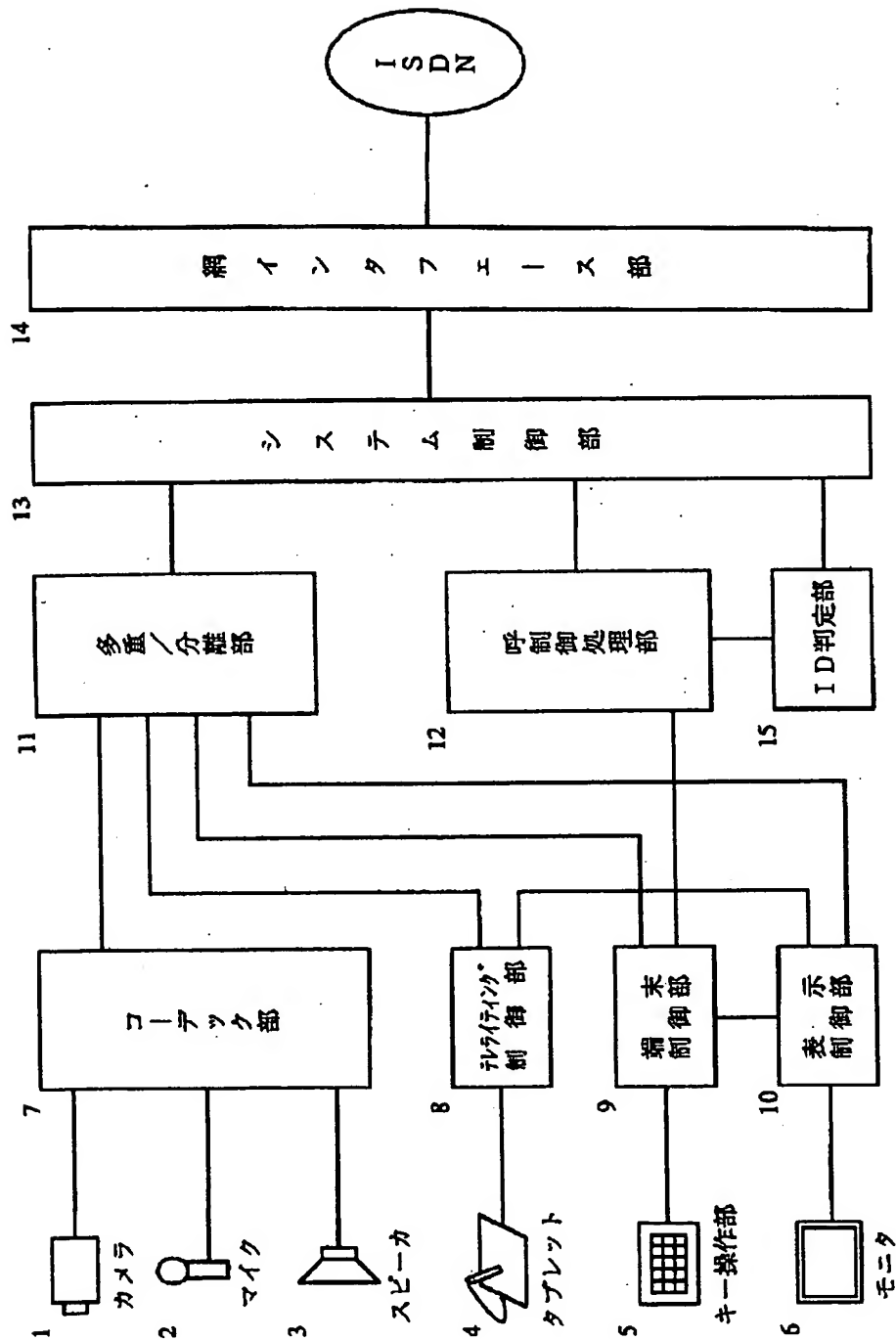
【符号の説明】

- 1 カメラ
- 2 マイク
- 3 スピーカ
- 4 タブレット
- 5 キー操作部
- 6 モニタ
- 7 コーデック部
- 8 テレライティング制御部
- 9 端末制御部
- 10 表示制御部
- 11 多重/分離部
- 12 制御処理部
- 13 システム制御部
- 14 網インタフェース部
- 15 ID判定部

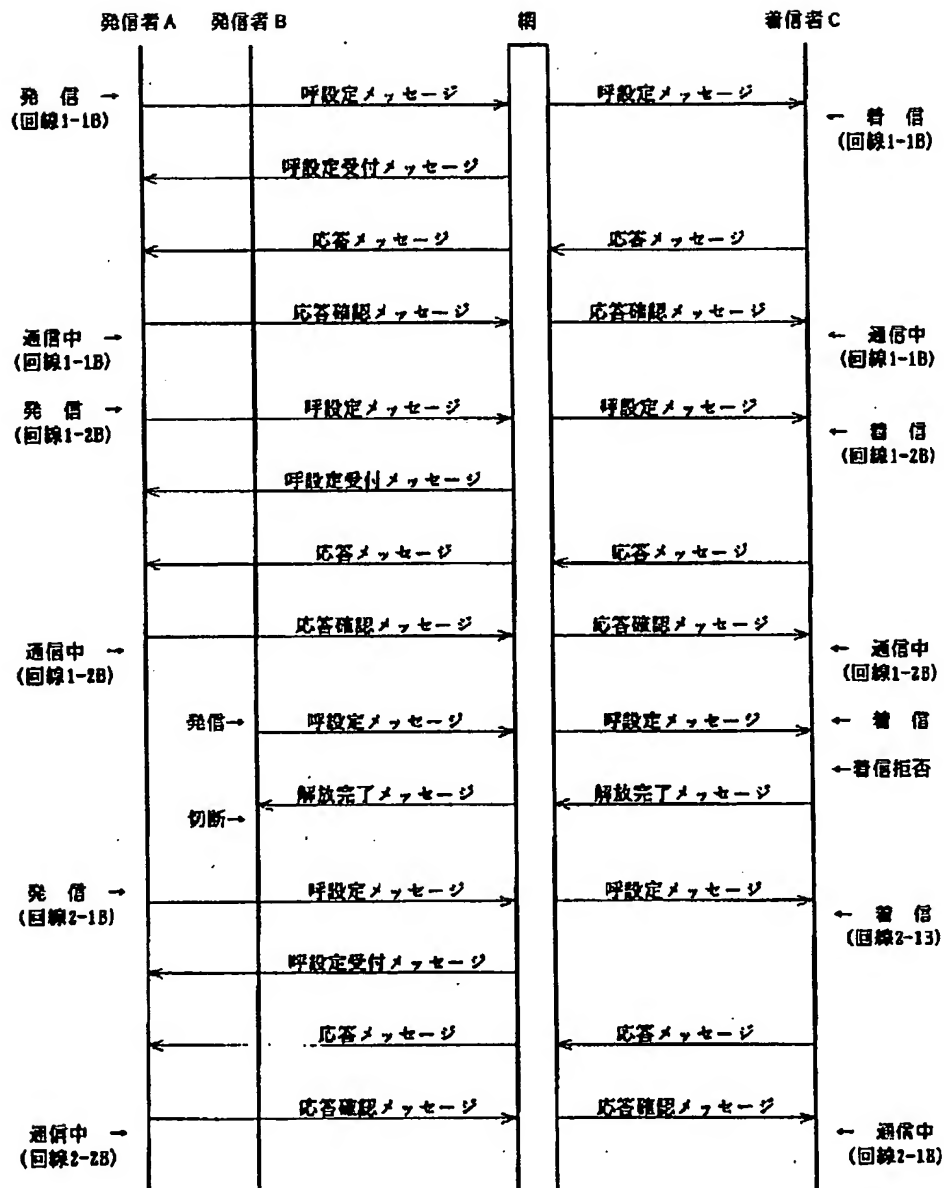
【図2】



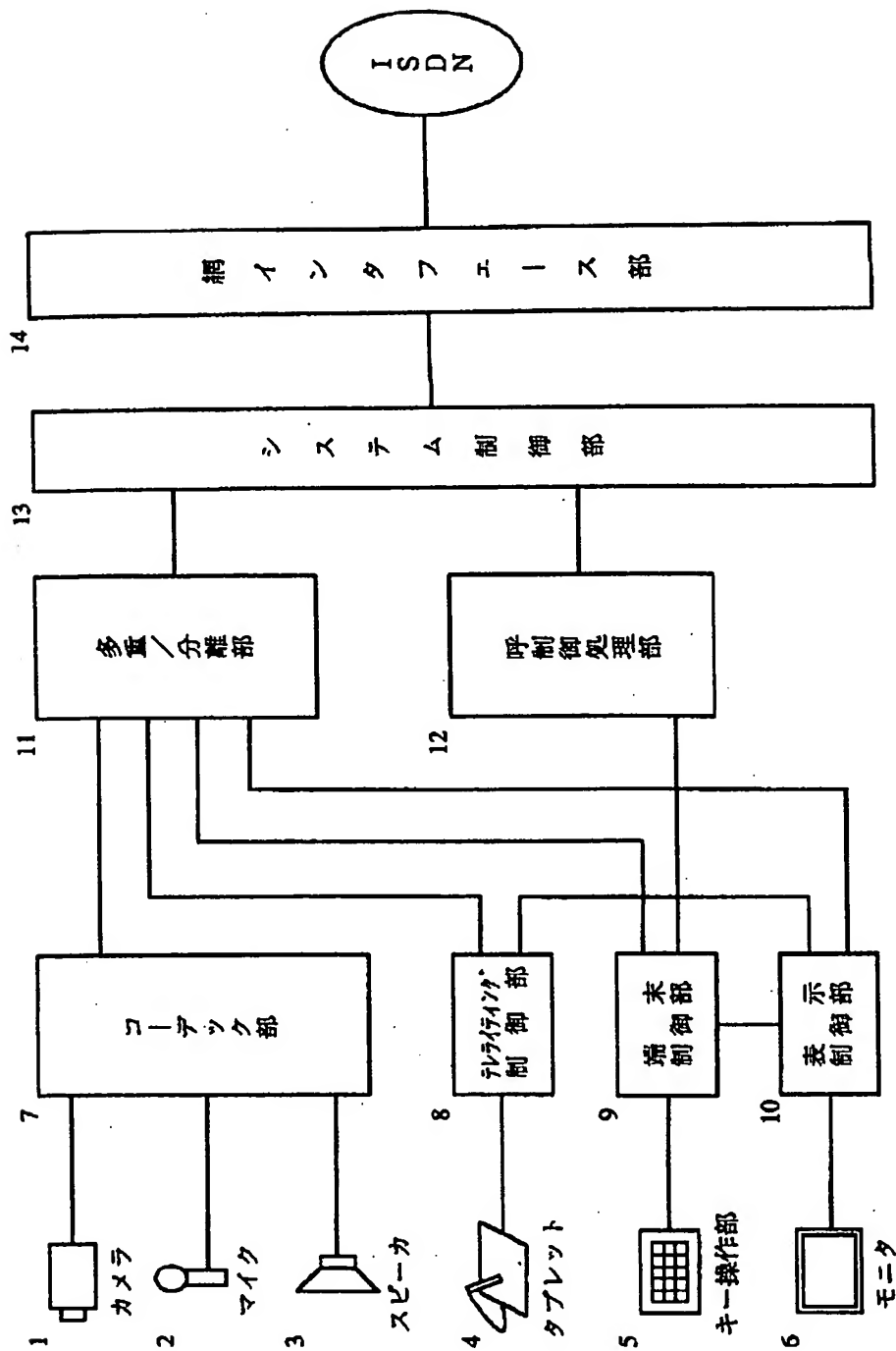
【図1】



【図3】



【図4】



【図5】

